

28年度 採択案件用

(別紙様式第4号)

26~28 採択案件は旧要領に基づきますので、
「別紙様式第4号」です。
機構HPよりDLのうえ、作成願います。

複数の報告書を提出する
団体は、必ず文書番号を
明示

番 号
年月日

独立行政法人農畜産業振興機構理事長 殿
(都道府県野菜価格安定法人経由)

道府県協会を經由して
申請書や報告書を提出する場合は、
經由する協会名を補記してください
(機構直送案件は、削除願います)。

職位を必ず明記して下さい。

事業実施主体名
所 在 地
代 表 者 氏 名

印

今回の報告書は、29年度の
実施状況を報告します。

加工・業務用野菜生産基盤強化事業実施状況報告書(平成29年度)について
~~(加工・業務用野菜生産基盤強化事業成果報告書について)~~

新しい野菜産地づくり支援事業実施要領(平成28年4月1日付け27生産第2956号農林水産省生産局長通知)別記1の第14 ~~(第15)~~に基づき、別添のとおり関係書類を添えて報告します。

5年目の報告のときは、「成果報告書」として提出
(=毎年度(1年目~4年目まで)提出する
「実施状況報告書」の場合は、カッコ書きを削除)

(注) 関係書類として、別添資料を添付する。

役職名なども含め、事業実施計画から正確に転記

(別添)

1 事業実施主体の概要

団体名	エーリック出荷組合		
代表者名	組合長	農林 太郎	
担当者名	農林 二郎		
	(TEL) 999-9999-9999		(FAX) 888-8888-8888
	(E-mail) abcd@alic.go.jp		

(注) 担当者は、本事業の実施及び会計手続等の窓口となる者を記載する。

●最新(直近)の事業実施計画から転記

- ※1 代表者名や担当者名等の変更がある場合は、計画変更を行ってください。
- ※2 取組期間は、各種取組の実施期間である3年間を指します。(なお、事業実施期間は、5年後の目標評価時を含めた5年間を指します。)

2 取組期間及び対象品目

取組期間	28年度～30年度	対象品目	○○○
------	-----------	------	-----

3 産地の現状等

(例) ○○の農業は、これまで、□□等の作物生産を主体とした農業生産が展開されおり、○○年頃より、加工・業務用○○の栽培を進めてきたところであるが、□□については・・・・のような問題が生じている。

(※記入例を参考に営農に関する現状(栽培作物・面積)、加工・業務用野菜の生産状況、課題について具体的に記載すること。)

平成29年度現在の産地の現状について、事業実施計画「3.産地の現状・課題」及び「4.産地の取組」の記載内容をベースに、営農に関する現状(栽培作物・面積)、加工・業務用野菜の生産・出荷に係る状況や課題・問題点などについて、

『2年後に迫る平成32年度の成果目標の達成に留意して、具体的に記載してください。』 ※計画書の転記だけでは認められません。

●現状～1年目 ⇒ 28年度の**実施状況報告書**の同じ欄から転記

記載しない箇所は、空欄ではなく「—」(ハイフン)を記載する(すべての表)

4 達成状況

指標項目	現状 (平成●●年度)	目標 (平成32年度)	取組状況					達成率(評価)(%) (5年目(%) / 目標(%))
			1年目 (平成28年度)	2年目 (平成29年度)	3年目 (平成30年度)	4年目 (平成31年度)	5年目 (平成32年度)	
単収の向上 (kg/10a)	—	—	—	—	—	—	—	—
〇〇コスト削減 (円/10a)	(例↓) 契約取引数量の増加の場合			—	—	—	—	—
契約取引 数量の増加(t)	1,000 t	1,333.3 t (33.3%増加)	1,123.6 t (12.4%増加)	1,199.7 t (20.0%増加)	—	—	—	—

●29年度の該当する目標の実績に係る増減率を記載
小数点第2位を四捨五入して、第1位まで表示

- (注) 1. 現状及び目標は、事業実施計画の5から転記する。
2. 取組状況欄には、下段に現状からの増加(削減)割合(%)を小数点第2位を四捨五入し、%単位で記載する。
3. 達成率は、目標(増加・削減割合(%))に対する達成度(%)を小数点第2位を四捨五入し、%単位で記載する。

〈添付資料〉

取組状況等の根拠資料(考え方等) ⇒ 29年度の契約期間における目標の達成状況の算出根拠:(データ)の集計表(整理表)を添付

5 取組の効果及び改善方策

	取組の効果	課題	改善方策(改善の必要がある場合)	備考
1年目 (平成28年度)	●1年目・・・28年度の 実施状況報告書 の同じ欄から転記			
2年目 (平成29年度)	●2年目(取組の効果) 29年度の各取組(実需者ニーズの生産/出荷の状況、生産/流通コストの低減の状況、作柄安定の取組効果など)を、数値を用いるなどして、具体的に記載してください。	●2年目(課題～改善方策) 29年度までの取組を通じて明らかになった課題や懸念事項等を整理し、それに対する改善方策について、『2年後に迫る平成32年度の成果目標の達成に留意して、具体的に記載してください。』 ※ 適宜、別紙を活用したり、参考資料を添付するなどして、わかりやすさに留意して下さい。		
3年目 (平成30年度)				
4年目 (平成31年度)		—	—	—
5年目 (平成32年度)	—	—	—	—

※ 「5事業の効果及び改善方策」が最もコアになる箇所ですので、箇条書きではなく、事業を通じて得られた効果とともに、目標達成に向けた課題や問題点を洗い出し、そのための改善方策や工程などについて検討し、具体的に記載してください。

●現状～1年目&単収 ⇒ 28年度の**実施状況報告書**から転記

記載しない箇所は、空欄ではなく「—」(ハイフン)を記載する(すべての表)

6 契約に基づく出荷実績

	現状 (平成●●年度)	1年目 (平成28年度)	2年目 (平成29年度)	3年目 (平成30年度)	4年目 (平成31年度)	5年目 (平成32年度)
契約者名 (実需者、中間事業者)	1. ABCベジ加工 (DEF流通) 2.	1. ABCベジ加工 (DEF流通) 2.	1. ABCベジ加工 (DEF流通) 2.	—	—	—
契約期間	平成●●年12月 ～平成●●年5月	平成28年12月 ～平成29年5月 (平成28年12月 ～平成29年4月)	平成29年12月 ～平成30年5月 (平成29年12月 ～平成30年4月)	—	—	—
出荷数量(t) (契約数量(t))	1,000 t (1,000 t)	1123.6 t (1,100.0 t)	1199.7 t (1,150.0 t)	—	—	—
換算面積(ha) (契約換算面積 (ha))	20.0ha (20.0ha)	22.4ha (22.0ha)	23.9ha (23.0ha)	—	—	—
出荷面積(ha) (契約面積(ha))	—	—	—	—	—	—

●契約数量/面積
下段にカッコ書きで記載
(事業実施計画の6から転記)

●換算面積(契約換算面積)
出荷数量(契約数量)から、
単収で除して記載する。
(例の場合、1,199.7t/5,000kg)
※小数点第2位を切り捨て、ha
単位で記載。

単収	5,000 kg/10a
----	--------------

(注) 1. 契約方法に合わせて契約数量又は契約面積(小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。)の該当する方を記載する。

- 2. 現状の数値は、原則として、
- 3. 出荷数量は対象農産物の
- 4. 換算面積(小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。)
- 5. 契約換算面積は、対象農産物の
- 6. 出荷面積は、対象農産物の
- 7. 単収は、事業実施計画の

<添付資料>

- ・契約書又は契約内容確認書
- ・出荷実績、単収の根拠資料

●出荷実績・以下のケースごとに、**該当の書類**から転記してください。

① 年度内出荷案件

⇒ 29年度の**実績報告書**の別紙「1 契約に基づく出荷実績」から転記

②-1 契約期間が、4月以降に及び契約において、年度内に出荷実績が契約条件を満たした案件

⇒ **取組状況等の根拠資料**(根拠データの集計表(整理表)を添付のうえ、当該資料から転記

②-2 契約期間が、4月以降に及び契約において、年度内に出荷実績が契約条件を満たしていない案件(3月末時点において、出荷途中であったもの)

⇒ 「**対象契約履行報告**(機構要領別記様式第2-1号)」の記の3(契約に基づく出荷実績の当該年度実績)から転記

● 1年目
28年度の**実施状況報告書**
から転記

● 2年目・・・29年度の**実績報告書**から転記（実績確定額及び面積を記入）
なお、実績が、実績報告時の事業実施計画との差異（補助金の減額、事業対象面積の縮小）があった場合には、備考欄に、その理由（未取組、証拠未整備など）と、事業実施計画上の事業対象面積及び交付決定額を記載。

7 補助金額				
	事業対象面積 (ha)	単価 (千円/ha)	補助金額 (円)	備考
1年目 (平成28年度)	19.5ha	7	13,650,000円	(計画) 事業対象面積：20.0ha 補助金額：14,000,000円 (減額理由) 0.50ha分の取組の証拠未整備による。
2年目 (平成29年度)	20.0ha	5	10,000,000円	—
3年目 (平成30年度)	—	—	—	—

(例) 1年目に0.50ha分の取組が確認できなかった場合

3年目、および備考欄に記載事項が無い場合は、空欄ではなく、「—」（ハイフン）を入れる

8 事業内容 取組期間 (平成28年度～平成30年度)

① 生産・流通の構造改革の取組			
対策項目	取組内容	取組時期 (年月)	取組面積 (ha)
a 加工・業務用ほ場の設定	事業対象ほ場ごとに、表示標を設置した	平成28年4月	19.5
		平成29年4月	20.0
b 実需者等との一定期間の事前契約の締結	実需者と出荷前までに契約を締結した	平成28年11月	19.5
		平成29年11月	20.0
した	契約書により指定される加工用品種を導入した	平成28年6月	19.5
		平成29年6月	20.0
	収穫機の導入により、収穫コストの低減を図った	平成28年12月～平成29年5月	19.5
		平成29年12月～平成30年5月	20.0
	大型コンテナの導入により、出荷コストの低減を図った	平成28年12月～平成29年5月	19.5
		平成29年12月～平成30年5月	20.0
f トレーサビリティシステム等の導入	コンテナに生産者、ほ場が特定できる票箋等を付し、実需者の照会に速やかに対応できる体制を整えた	平成28年12月～平成29年5月 平成29年12月～平成30年5月	19.5 20.0

● 29年度の実績報告書から転記

(別紙「2生産・流通の構造改革の取組」の当該年度実績から転記。記載内容は、実績報告書と正確に一致すること(他の転記部分も同じ))

2年分の実績を記載することに注意

- (注) 1. 取組内容欄には、取組方法及び使用資材等を記載する。
2. 取組時期欄には、当該取組が行われる年月を記載する。
3. 取組面積欄には、当該取組が行われる面積を記載する。
4. 1つの対策項目において、複数の取組を行う場合は、取組内容ごとに記載する。

● 1年目：
28年度の**実施状況報告書**の同じ欄から転記

② 作柄安定のための取組									
対策項目	1年目			2年目			3年目		
	取組内容	取組時期 (年月)	取組面積 (ha)	取組内容	取組時期 (年月)	取組面積 (ha)	取組内容	取組時期 (年月)	取組面積 (ha)
a 土層改良・排水対策	天地返し	平成28年9月~10月	20.02	天地返し	平成29年9月~10月	20.02			
小計			20.02ha			20.02ha			
b 病虫害防除・連作障害回避対策	—	—	—	—					
小計			—			—			—
c 地温安定・保水・風害対策	不織布	平成28年11月~平成29年2月	20.02	不織布	平成29年11月~平成30年2月	20.02	—	—	—
小計			20.02ha			20.02ha			—
d 土壌改良資材施用	堆肥	平成28年10月~11月	19.52						
小計			19.52ha			—			—
取組面積 (実面積)			19.5ha			20.0ha			—

● 2年目：
29年度の**実績報告書**

別紙「3作柄安定の取組」から転記

3年目等、記載しない箇所は、空欄ではなく「—」(ハイフン)を記載する

(例) 1年目に0.50ha分の取組が確認できなかった場合

- (注) 1. 取組内容欄には、取組方法及び使用資材等を記載する。
 2. 取組時期欄には、当該取組が行われる年月を記載する。
 3. 取組面積欄には、当該取組が行われる面積を記載する。
 4. 1つの対策項目において、複数の取組を行う場合は、取組内容ごとに記載する。

5. 取組面積(実面積)欄は、小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。

ほ場番号も、事業計画及び実績報告書と一致するよう注意

● 1年目：
28年度の**実施状況報告書**の
同じ欄から転記

● 2年目：
29年度の**実績報告書**
(「4 作柄安定のための取組 (ほ場別)
から転記)

(別添)

ほ場内容 (個人ごと)

事業参加農家名	対象ほ場の所在地	作柄安定のための取組												備考
		1年目				2年目				3年目				
		記号	取組内容	取組時期 (年月)	取組面積 (ha)	記号	取組内容	取組時期 (年月)	取組面積 (ha)	記号	取組内容	取組時期 (年月)	取組面積 (ha)	
① 農林太郎	霞ヶ関1丁目1~5	a	天地返し	28年9月	10.00	a	天地返し	29年9月	10.00	-	-	-	-	-
		c	不織布	28年12月		c	不織布	29年12月		-	-	-	-	
		d	堆肥	28年9月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
②														-
③														-
取組面積(実面積)		19.5ha				20.0ha				-				

~以下同様に記載~

- (注) 1. 事業参加農家名欄には、事業に参加する農家全員をほ場ごとに記載する。(地続きの場合は複数のほ場をまとめて記入することも可) また、記載欄が不足する場合、様式に記載欄を追加して記載する、又は、別紙において一覧表を作成し添付することも可能とする。
2. 対象ほ場の所在地欄には、番地まで記載する。
3. 取組内容欄には、取組方法及び使用資材等を記載する。
4. 取組時期欄には、当該取組が行われる年月を記載する。
5. 取組面積欄には、当該取組が行われる面積 (小数点第3位を四捨五入し、ha単位で記載する。) を記載する。
6. 期間中に1つのほ場で対象品目を複数回作付する場合には、ほ場の実面積を記載する。
7. 取組面積 (実面積) 欄には、小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。

3年目および備考に記載事項が無い場合は、空欄ではなく、「-」(ハイフン)を入れる

チェックシートを機構HPよりダウンロードして、品目ごとに記載のうえ添付してください。
 (チェックシート：各採択年度共通)

<http://www.alic.go.jp/content/000136426.xls>

【加工・業務用野菜生産基盤強化推進事業】事業実施状況報告等チェックリスト						
事業実施主体名：		エーリック出荷組合	採択年度：	〇〇	品目名：	〇〇〇
	No.	チェック項目	チェック欄			
			事業実施主体	都道府県法人 ・都道府県	農畜産業振興機 構	
【基本】	1	事業実施状況報告の場合、提出期限（7月末日）以前の発信日となっているか。 （成果報告書の場合、目標年度の翌年度の10月末日以前の発信日となっているか。）	○	○		
	2	事業実施状況報告又は成果報告書が定められた様式（局長通知別紙様式第4号）に基づいているか。	○	○		
	3	「3産地の現状等」 当該年度の状況について、具体的に記述しているか。（計画書の転記不可）	○	○		
	4	「4達成状況」 事業の成果目標に対して【添付資料】の1の根拠資料に基づき、適切に達成状況が記述しているか。	○	○		
	5	「5取組の効果及び改善方策」 取組の効果、課題、改善方策等が適切に記述しているか。 （なお、課題がある場合は、改善方策の記述が必要。）	○	○		
	6	「6契約に基づく出荷実績」 最新の事業実施計画や過去に提出した実施状況報告書および実績報告書の内容に即して記述しているか。 （なお、変更がある場合は、別紙に内容と理由を整理の上、提出すること。）	○	○		
	7	「7補助金額」 各年度の実績報告にある事業対象面積及び補助金額と当該年度の補助金額が同額となっているか。 （また、事業実施計画の補助金所要額と補助金額が違う場合、備考欄が適切に補記されているか。）	○	○		
	8	「8事業内容」 最新の事業実施計画や過去に提出した実施状況報告書および実績報告書の内容に即して記述しているか。 （なお、変更がある場合は、別紙に内容と理由を整理の上、提出すること。）	○	○		
【添付資料】	1	指標項目に対する取組状況等の根拠資料が添付されているか。	○	○		
	2	出荷実績の根拠資料が添付されているか。 （注）既に提出している場合、省略することが可能。	○	○		
【チェック欄の記入方法等について】						
1 要件等が満たされている、あるいは必要な書類が添付されている場合には、チェックを行った者の欄に「○」印を記入する。						
2 該当しない項目には、「－」印を記入する。						
3 斜線部分の記入は不要です。						